

「子どもを溺愛」良い？悪い？

ある女優の息子が犯罪を起こし、その母親がTV謝罪した問題で、もう成人しているのだから母親が「謝らなくてもいい」とか「謝るべきだ」との論争がおきています。また、母親が彼を「溺愛したことが悪いと」述べている雑誌もありました。

この論争は、今回だけでなくよく見かける現象のように思います。そこで、親が子どもを溺愛することが悪いことなのかについて私見を述べますと子どもを溺愛しない親はいないはず、当然であると思います。

しかし、無垢の愛情を注ぐと同時に「子どもは社会の子」という言葉もあるように一端社会に出たら、電車に乗ってマナーが悪ければ(例え親はOKでも)同乗者からの注意を受け入れ、友達のお母さんから「お宅のお子さん少しわがママが過ぎていると思うよ」とアドバイスされたら、「ありがとう、また気が付いたことがあったら教えてね」と(内心頭に来ても)「他者の考えを子どもが知る場」を排除しないことが大切です。ましてや「何言っているのよ、お宅の子どもだって…」とか、「うちの子に何を言うんですか」と電車の中で相手を攻撃しないことです。そうした他者からの健全な注意を受け入れながら育てる人は、親が出て謝らなくても良いが、「うちの子に何を言うの」という親は、出て来て謝るべきだと思います。

まっく体操クラブ 向井 忠義